

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話27-2495

主な記事

- 「情報メディアの利用、土曜日の過ごし方等」についてのアンケート結果について
- 平成26年度児童生徒芸術等鑑賞会のお知らせ
- 町内の先生が一同に集い「あつま教師力アップ研修会」を開催
- 第22回カルチャーバスを開催
- 図書室だより
- 放課後子ども教室活動紹介

「情報メディアの利用、土曜日の過ごし方等」についてのアンケート結果について

近年、児童生徒の携帯電話やスマートフォン(以下「スマホ」)などの利用をめぐって、生活習慣の乱れをはじめインターネットによるいじめやトラブルの発生が指摘されていることから、望ましい生活習慣の確立やいじめの未然防止に向けた施策の推進を行うため、教育委員会では本町の児童生徒の携帯電話やスマートフォン(以下「スマホ」)などの利用の実態を把握するアンケート調査を実施しました。

アンケートは、町内の小学校4年生から中学校3年生までのお子さんをお持ちの保護者の皆様を対象に6月に実施し、対象者の約8割に当たる、157人の保護者の皆様からアンケートのご協力をいただきました。また、時期を合わせて児童生徒(小学校4年生以上)にも、保護者アンケートと同様のアンケートを実施しています。

アンケートの結果、本町の児童生徒の携帯・スマホ等の所有で以下のような実態が浮かび上がりました。

1. 携帯・スマホ等の所有率……小学生は23%(全国36.6%)、中学生は41%(全国51.9%)。
種類……小学生は機能制限携帯電話、中学生はスマホの所有が多い。
2. フィルタリング(閲覧制限)……フィルタリングをかけていないのは 約40%
3. 所有の理由、目的……保護者と子どもで違う面も
保護者の理由は、「子どもとの連絡」、「子どもの居場所が分かり、安心できる」
子どもの目的は、家族との連絡以外にも、「友達との連絡、メール」「音楽や動画、ゲームを楽しむ」「インターネットで調べ物をする」「SNSやチャットを楽しむ」など多様
4. 情報リテラシー(情報活用能力)……児童生徒の情報活用能力では、不十分な面も。
5. 家庭でのルールづくり
3分の2の家庭……ルールは作ってはいるが、あまり守られていない。
3分の1の家庭……ルールは作っていない。
6. 携帯・スマホ等の平日の使用時間……1時間以上使う子どもが約30%
7. 保護者からの注意内容……「使い過ぎるので」が最も多い。「寝ながら使っているので」「人との会話中も使っているので」「食事中も使っているので」など課題のある例も
8. パソコン、ゲーム機の平日の利用時間……「2～3時間未満」 7～8%
「3時間以上使」 約4%
9. テレビ、ビデオ等の平日の利用時間……「2～3時間未満」 約17%
「3時間以上」 約6%



アンケートによると、保護者も児童生徒も「携帯、スマホに依存的になる」「いじめやトラブルに巻き込まれる」「勉強に集中できなくなる」「生活リズムが乱れる」などの心配を抱えています。

学校やPTAと連携を図りながら、全町的な実効性のある取組が求められます。

◆問合せ 教育委員会 社会教育グループ ☎27-2495